

エフエム大分 ラジオ番組で 『内航船』にスポット

2018 年の「内航船の日」は、初めてラジオから始まりました。

「ふと海を想う。島国の暮らしと内航船をイメージする日。」

一人ひとりの内航船の日。島国の生活の中で、誰でもが「今日は内航船の日だから〇〇してみた」、「〇〇食べてみた」、「〇〇着てみた」と SNS などで発信しながら、特別な日にしていってもらえるといいなと思っております。

そんな中、今年は 7 月 15 日より少し早い 13 日に DJ NAVE さんが、エフエム大分のラジオ番組から 2018 年「内航船の日」のスタートを飾ってくれました。業界新聞も事前に情報をキャッチ。すぐに告知の記事が掲載されました。 (全日本内航船員の会 事務局)

内航海運新聞 (平成 30 年 7 月 9 日号) の記事を紹介いたします。 以下転載

内航船の日直前!

エフエム大分 ラジオ番組で 『内航船』 にスポット

13 日 (金) 7 時 30 分から放送

第 3 回目を迎える 7 月 15 日の記念日「内航船の日」まで、いよいよあと 6 日と迫ってきました。昨年の記念日当日には、早朝の Twitter (ツイッター) トレンド欄に「# 内航船の日」が初めて登場。海と陸をつなぐ記念日として、回を重ねるごとに知名度が高まってきている。

こうした中、大分県内をサービスエリアとする FM ラジオ放送局・エフエム大分で 7 月 13 日 (金) に放送されるラジオ番組『Charge-up RADIO』(7 時 30 分～9 時 54 分) において、「内航船の日」や「内航船」にスポットが当てられる。

同番組は、“元気を届けるラジオ”をキーワードに掲げ、元気の出る音楽とともに、地域のニュースやその日に使える耳寄りな情報などを紹介するもの。今回、金曜日のパーソナリティを務める DJ NAVE さんの企画として、記念日直前に番組の中で内航船に関する話題を取り上げることとなった。

DJ NAVE さんは、大分県佐賀関町 (現在は大分市に編入) 出身。自身は海運業界とは縁もゆかりもないが、「子供のころから船が好きで、学校の帰りに船が港に出入りする様子をよく見ていた。大人になってからはカメラが趣味となり、船を被写体に撮影していた」。実際に撮影してみると、これまで貨物船という単一の認識だったものが、様々な種類の船があるとわかり、「興味を持って調べていく中で、『内航船』や『内航船の日』に出会った」のだという。

実は DJ NAVE さんは昨年も、同番組の中で「内航船の日」を紹介している。そのと

きは、「リスナーが船をイメージする楽曲をかけながら、私の調べられる範囲で内航船や船員さんの仕事などについて少しお話をさせていただいた」。一方、13日の放送では、「“オール内航船トーク”とする予定。昨年よりも深掘りして、船を見る側の立場から入出港のここが面白い・萌えるなど、内航船を知らないリスナーにもわかりやすく魅力を織り交ぜながら、いただいた情報として船員不足や日本の物流を支えているといったことも説明し、多くの方に興味を持っていただきたい」と意気込みを語る。

また、内航海運業界に向けて、「先輩 DJ からは『見えないところで誰かがやっていることが自分たちに返ってきている』と教えていただいたが、内航船がまさにそうだと感じる。船を走らせること、荷物を届けてくれること、誰かのためになっている素晴らしい仕事で、知れば知るほどリスペクトと感謝しかない。私たちのために日々頑張っている業界の皆さんに、ラジオを通じて発信することで恩返しをしたい。これからもご安航をお祈りします」と応援メッセージをくれた。

エフエム大分の放送周波数は、大分(88.0MHz)、玖珠(89.3MHz)、日田(85.1MHz)、佐伯(81.8MHz)、津久見(80.7MHz)、中津(84.9MHz)、竹田(81.8MHz)。同番組を通じて、これまで内航船に触れる機会のなかったリスナーが、一人でも多く内航海運業界の良き理解者となり、サポートの輪が広がってくれることを期待せずにはいられない。これも「内航船の日」を中心に、PR活動を地道に続けてきた関係者の努力が結実してきていることの証左と言えよう。

全日本内航船員の会の松見準事務局長は、「一般の方が SNS で呼びかけた記念日が、どんどん膨らんでラジオにまで広がった。『内航船の日』は、島国・日本での生活に欠かせない重要な役割を担っている内航船を、“たまには意識して応援しようじゃないか”と一般の方々の支えで広がっている。通信技術の発展と SNS が海と陸の垣根を越え、これまで目の届かなかった船の世界をより身近にし、さらには物流を意識することで私たちのライフスタイルを足元からイメージしていくことにつながっている。こうして育ち始めた海洋文化社会の中で、海事産業がともに発展していける未来に期待している」とコメントしている。(了)

【DJ NAVE さんから届けられた番組へのリアクション (一部)】

エフエム大分7月13日(金)『Charge-up RADIO』(7時30分~9時54分)

50代男性... 7/15、ナイコで内航船の日!新聞記事見ましたがスゴイ大々的に掲載されて嬉しくなりました。ネット検索中に動物好きの私が食い付いたのは「カンパチ船長」うどんをひっくり返して懲罰中のカンパチ船長・・・カワイイ!!

40代女性... 先日、修学旅行以来、フェリー「さんふらわあ」に乗りました。船の中はレストランや大浴場もあり、部屋にはテレビまであって快適でした。でも、なによりも海から見る夜空に、朝日は最高でした。明石海峡大橋の下を朝日を見ながら通る時は感動しました。船の揺れも音も心地よく、船の旅もいいなあと思いました。陸から海を眺めて船を見るのも好きですが、乗るのもいいですね。また乗りたいと思っています。

40代男性...今日は船の話を知ると言うのでワクワクしています。内航船の詳しい話を聞けるのはなかなかない機会なんで興味津々です。

30代男性...内航船という言葉を知めて聞きました。自分でも調べてみたいと思います。

50代男性...今日は船の話が聴けるみたいなので楽しみにしています。船の話が出たので、これから佐賀関方面に海や船の写真を撮りに行ってみようと思います。

40代女性...素朴な疑問ですが、内航船にエアコンなど空調設備等は整っているモノなんでしょうか??

30代女性...数少ない見覚えのある内航船と言えば 幼い時には石炭運びに使っていて役目を終え飾ってあった「五平太船」が遊び道具の一つでした。今、1番近い内航船は「ダイハツ丸」「ダイハツ丸2」でしょうか?まさに七(ナ)一(イ)三(ス)「ナイスの日」のぴったりの内航船の上から聴いてるよメッセージが来る事も楽しみにしております。

50代女性...内航船の日、おめでとうございます。私の祖父は内航船の船長さんでした。叔父さんも、祖父のあとを継いで船長さんをやっていました。父も機関士をやっていました。私も子どもの頃の夏休みは、よく乗りに行っていました。イルカやカブトガニをよく見ました。エンジンルームのパタパタしたやつが、むちゃくちゃ怖かったです。

30代男性...内航船、自分には無理な仕事ですね。船酔いするんですよ。船酔いは本当に気持ち悪い。海の上での仕事、尊敬します。

30代女性...生活する上で当たり前と感じてること。いや、当たり前と気づきさえもしないこと。そんな日々を送れることは幸せですね。自分の知らない場所でお仕事してくれてる方々のおかげです。内航船の存在を知ることができたことに感謝です。

40代男性...私の息子は航海士になる為に、県外の高校に行ってます。日本は島国ですので船舶輸送は国民の生命線ですので、心構えなど叩き込まれているようです。まあ。本人は好きな事なので楽しんでやってるようで、少し羨ましいですね。

20代男性...一番自分に馴染みのあった内航船(になるかは微妙なラインですが)は、北九州は戸畑-若松に掛かる若戸大橋のたもとで運行している若戸渡船ですね。(くき丸第十八わかと丸)。当時戸畑に住んでいた時に自転車を載せて、若松までよくサイクリングに行っていましたね。海と風を同時に感じるいい機会でした。今も市民の生活の一部として機能しているようです!あと関門海峡を行き来する内航船(外航船もいたでしょうけど)を見るのが好きでしたね。関門海峡だと対岸が見えるので、スケール間やスピードなどを感じやすかった記憶があります。

40代男性 ... 父が遠洋漁業の船員だったこともあり船は好きです。時々、津久見や大在で、行き来する船をぼんやりと眺めるのが癒しの時間になっています。あの船はどこに行くのか、何を積んでいるのか、考えるとロマンがありますね。内航船の日ですか。週末は久々に港にいこうかな。

50代男性 ... NAVEさんが内航船の話を取り上げてくれたことで生活に密着してることなのに知らないまま日々が過ぎ去ってることがあるなと思いました。フェリーの接岸風景はたまに目にするのですが。

40代男性 ... 船やトラックは物流に無くてはならなくて、特に離島に住む人々にとって内航船の働きは大きいですね。普段は当たり前で気付かない事が多いのですが、こういう日に再認識して感謝する!大切な事だと思います。

30代女性 ... 先程「ローロー船」というフレーズを聞いて、昔高校で地理の教員をしていたときのことを思い出しました。コンテナ船や穀物輸送船、LPG船・たくさんの船が、いいアングルで掲載されている地理の資料集が面白いですよ、いつか機会があればみてほしいなあと思います。

40代男性 ... 津久見の石灰石の運搬船に船長として乗っていた叔父の自慢は、退職するまで無事故だったこと。その叔父にあこがれて、図書館で、なるにはブックの船長になるにはを読破し、弓削(ゆげ)の商船高等学校をめざしましたが、残念ながら成績が伴わず断念。いまでも叔父は私の自慢です。

40代男性 ... 今度の日曜日に 仕事で山口県に行く予定なので、帰る時に壇ノ浦PAで休憩がてら舟の行き来を眺めようと思います。NAVEさん達の情報で予備知識をもって見ると、今までとは違った視点で見られるので楽しみです。

50代女性 ... 内航船の日とかがあってこと、初めて聞きました。実は息子が航海士を目指して大学に通っており、今日この時間、博多で海技試験のまっ最中です。8月には航海実習もあり、卒業までにはまだまだ沢山の乗船時間、国家試験があります。特殊なので就職先もどう探すのか心配が尽きません。なべさんから聞いたハッシュタグ、とても参考になりました。早速、子供に教えます!

30代女性 ... #内航船の日でTwitterみてみました!船のお仕事してる皆さん、とってもカッコいいです!今まで知らなかった世界でしたが、私たちの生活に深く関係してるんですね。頑張ってください!

30代女性 ... 内航船の日のことはNAVEさんのラジオで初めて知りましたが、Twitterでいろいろ見てみて気になったのはフネメシです。船に乗ってる皆さんがどんな食生活をしてるのか興味があります。

10代男性 ... 海運業界を目指しています。理由は日本は4方を海で囲まれた島国ですので、海運業界にいる者がいなければ日本の経済は成り立たないから、少しでも国や人の役に立てれば良いなと思い、船乗りを目指し勉強しています。また、祖父が船乗りで、小さい頃から船に接する機会が多かったのもあります。

30代男性 ... なべさんのお陰で船を魅力に気づかされました。海の上で働いている人たちがいるから、私たちの生活もなりたっているんですね。教えてくれてありがとうございました！

たくさんリスナーの皆さまからのお言葉。心より感謝申し上げます。
今後ともよろしく願いいたします。

全日本内航船員の会

